



載つての高所作業は熟練職人さんでもミスが出るそうです、それなら雨に当たらない工場で作っちゃいましょうがハイムさんの売りです。

そしてそのユニットには、様邸などと実名が入っています。おまけにBIPルームなるものが有りまして、そのBIPルームから工場が見渡せます。そのBIPルームの前を自宅のユニットが流れて行くんですよ、この感覚は経験した人しか分からないか。まるで前号のリッツカールトンに似たりですね。よう考えるわホンマ。うまいな。工場見学が終わると、なるほどハイム館です、ソーラーパネルの説明や、蓄熱暖房とか、空気循環装置などの説明展示が有ります。ハイムさんはエコハイムと

いつて省エネルギーが売りたいんです。皆さんそれぞれ好みがあるように、色々な特徴の説明を聞き入っていたようです。大ちゃんにはあったかハイムが一番好みかな。冬の朝は寒いものは屋外で、落下実験、ハイムをクレーンで持ち上げました。1と3.2です。ドス10



mから落とし、器で計ります。20回くらい落として大丈夫です。バスが15台と、して20人の2チームで回るので計30回落とす、一日でオシヤカです。材料は10万円位ムだけやから、かな。そのあと地震体験ルームなどを体験して、ま、楽しかったかな。でも来週も同じとは、トホホである。実は84万円作戦は、姫路のハイムさんと神戸のハイムさんにそれぞれ申し込んでいて、来週も工場見学なのである。もちろん同じ奈良工場でも、この間、行ききましたからな、口が裂けてもいけません。当選の確率は70分の1であるから、2回のチャンスで350分の1まで確率が上がるのである。毎回何度も挑戦している方もおられる様で、業界言葉では、マニアと呼ばれるようです。たぶん大ちゃんも2週連続で来たとは、この白状するの、いや、大人の配慮配慮、だもんね。当然抽選会も2回である、ここまです。敵もさるもの同じ日に開催



とは、これは朝一に抽選して、午後は大阪だ、と作戦を立て。家で一番いいやつは？もちろん健ちゃんです。これは過去に何度も信じられないようなクジ運を發揮したのです。彼がいたから70分の1の確率もそうなんです。当日は嫌がる健ちゃんをつれていざ、姫路のハイムさんの抽選会場へ。入り口からエレベーターで最上階の7階へ、朝一番というのに、はや100人位が整理ロープにそって列を作っています。その人数に圧倒されまして、健ちゃんのピースも心なしか弱々しい、「あ、あ、あ、健ちゃんの家にしてあげると励まし、いざクジを引く。番号はなんと816番（ハイム）これは大当たりか？」ゴメン冗談、番号を引いて、それで二次抽選が有り当選者が決定するそうです。応募者の中から監視人も選ばれ、後日二次抽選が行われ、当選者及びハズレの人にも連絡が来ないというの、今日は当選者を出さない、この後はエレベーターでは



早速帰れない、営業マンが何時頃いらっしやいますかとそれ聞いていた理由が分かりました。70分の699人の方々へのご案内です。

(決して押し売りは有りません) 抽選場所からガイドロープが張っており、そのロープの間を歩く、間取り相談コーナーとかキッチンとかバスの展示コーナーへ導かれます。ハズレが決定しないうちに最後のご案内です。ハイムさんもこつからが本番やもんね、84万円で一棟だけ売つても商売になりません。見込み客699人のコストとしては今までの掛けた経費は安いのでしようね。ずつとやってくるもんね。ただ、僕達には2回戦が控えているので、おぼちおぼ説明いたしたい、一路大阪の南港へ急げ急げ、この日を持って尾上家の長く、また邪魔くさい、ハイム84万円への挑戦は無事終了したのであります。なんと、言ったも他の人の2倍です。からね、あしんど。めでたしめでたし、V!

